

サービス産業活動図表集
平成28年4月の第3次産業活動指数の状況

平成28年6月10日

URL:<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/result-1.html>

平成28年4月の第3次産業活動指数の状況

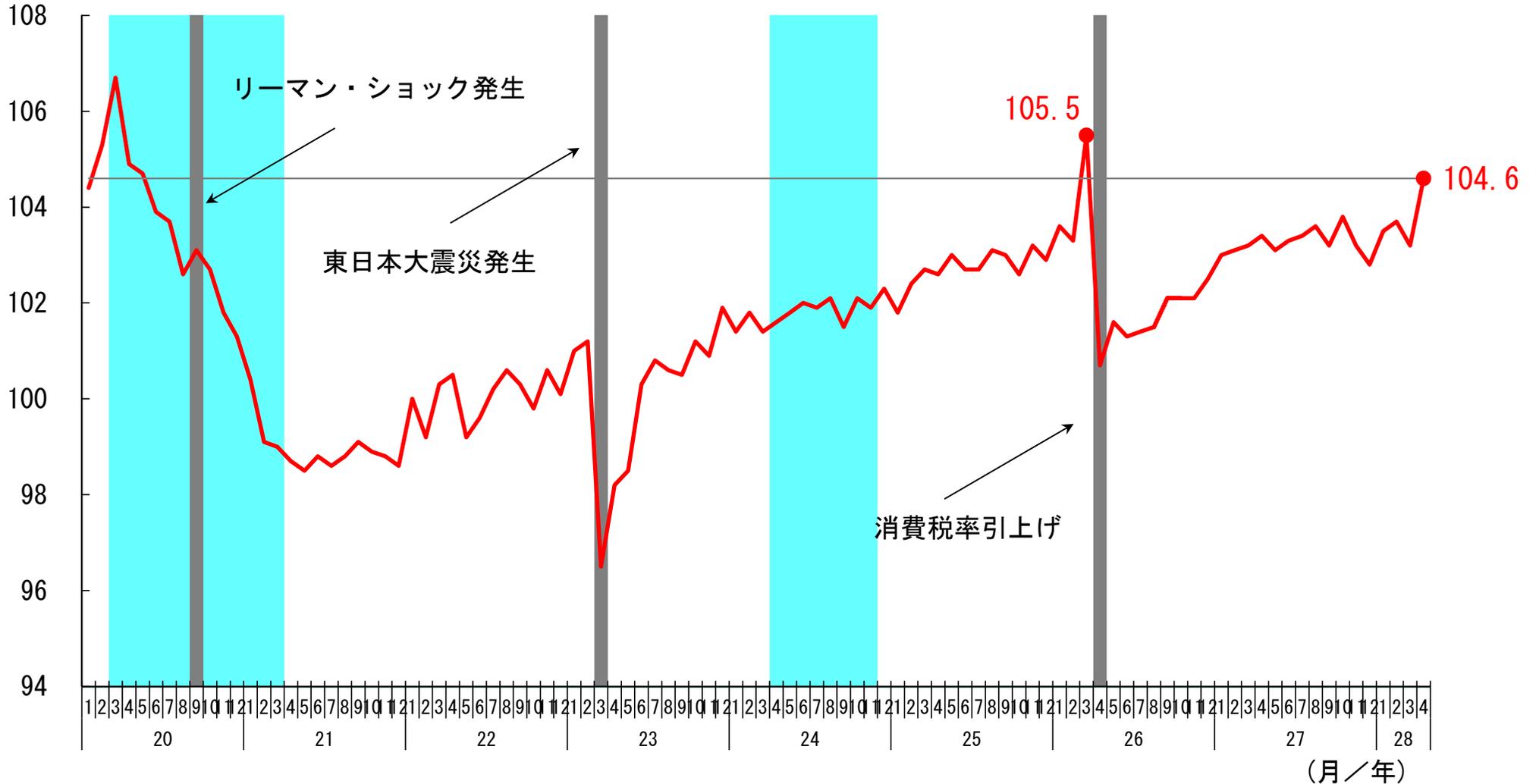
月次(H28年4月)		第3次産業総合	広義対個人サービス	広義対事業所サービス
季調済指数		104.6	105.3	104.0
前月比		1.4%	0.8%	2.2%
	指数水準	H26.03 105.5以来 I H20.03 106.7 II H26.03 105.5 III H20.02 105.3	H28.02 105.5以来 I H26.03 107.1 II H27.10 105.6 III H26.01,28.02 105.5	H20.12 104.6以来 I H20.03 113.8 II H20.02 111.3 III H20.04 111.0
	前月比の動き	2か月ぶり+ (H28.02以来)	2か月ぶり+ (H28.02以来)	2か月連続+ (H28.03以来)
	前月比幅	平成22年基準第4位タイ H26.03 2.1%以来 I H26.03 2.1% II H23.04,23.06 1.8% IV H22.01,28.04 1.4%	H27.10 0.8%タイ H26.05 1.0%以来 I H23.04 3.2% II H26.03 2.6% III H22.03,23.05-06 1.5%	平成22年基準第2位タイ H22.01 2.4%以来 I H22.01 2.4% II H20.03,28.04 2.2% IV H20.02,22.07 1.5%
原指数 前年同月比		1.1%	0.6%	1.5%
	前年同月比の動き	4か月連続+ (H28.01以来)	2か月ぶり+ (H28.02以来)	13か月連続+ (H27.04以来)
	前年同月比幅	H28.02 2.5%以来 I H24.03 4.7% II H24.05 4.0% III H24.04 3.3%	H28.02 2.6%以来 I H24.03 7.4% II H24.04 4.6% III H24.05 3.8%	H28.02 2.5%以来 I H24.05 4.1% II H26.03 3.3% III H27.04 3.1%

※ ローマ数字のデータは平成22年基準における最大値からのもの

第3次産業活動指数の動向

- ・平成28年4月の第3次産業活動指数は、104.6(前月比1.4%)と2か月ぶりの上昇。
- ・平成26年3月の105.5以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



平成28年4月 「第3次産業活動は一進一退」

基調判断の推移

- ・平成27年1月～4月
「持ち直している」
- ・平成27年5月～6月
「足踏みがみられる」
- ・平成27年7月～9月
「横ばい傾向」
- ・平成27年10月
「持ち直しの動きがみられる」
- ・平成27年11月
「一進一退」
- ・平成27年12月～28年3月
「一進一退ながら一部に弱さがみられる」
- ・平成28年4月
「一進一退」

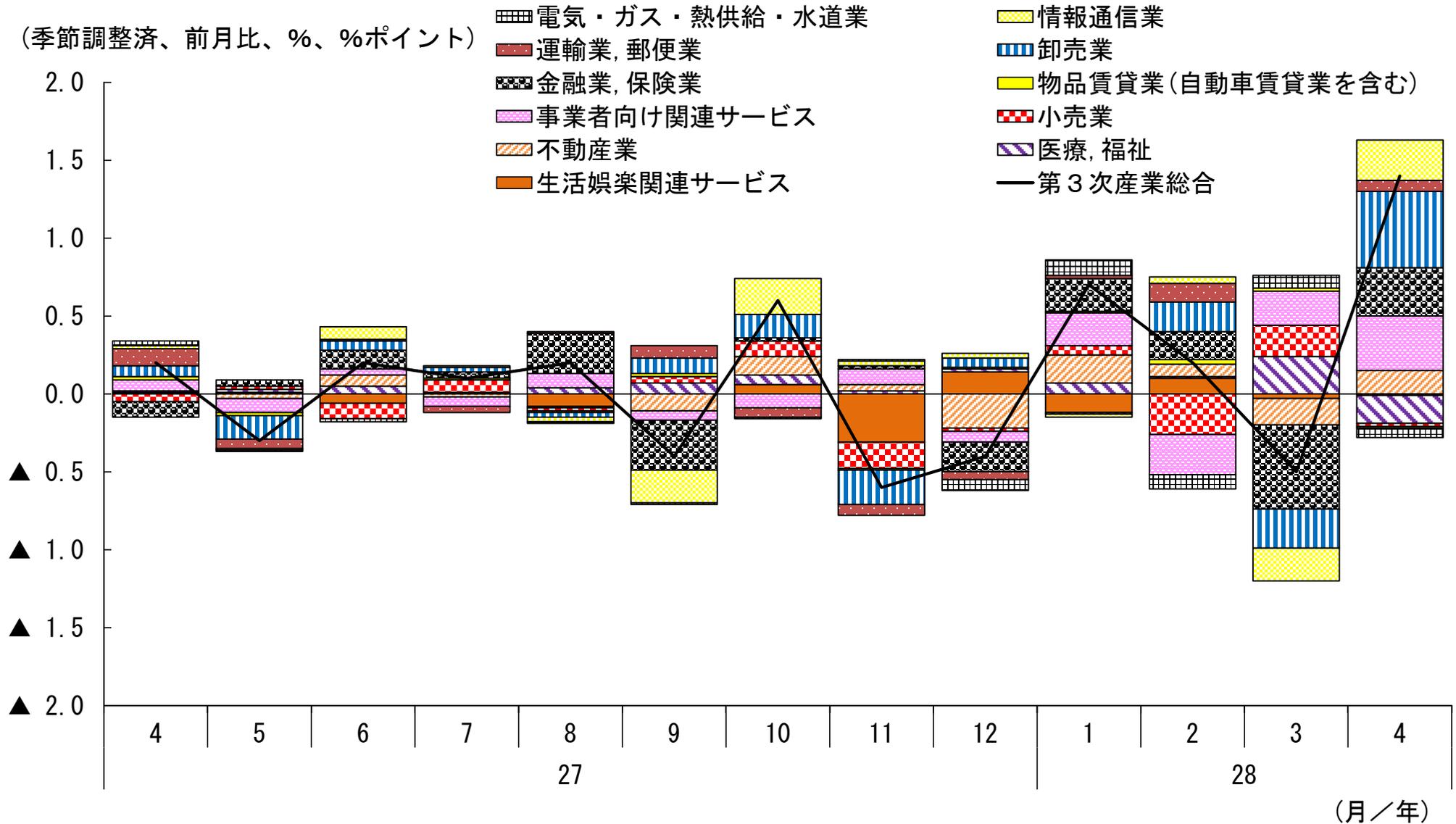
(27年1月より基調判断を実施)

	第3次産業 総合	前期比(%)	
		前期比(%)	
26年 I期	104.1	1.2	
II期	101.2	▲2.8	
III期	101.7	0.5	
IV期	102.2	0.5	
27年 I期	103.1	0.9	
II期	103.3	0.2	
III期	103.4	0.1	
IV期	103.3	▲0.1	
28年 I期	103.5	0.2	

	第3次産業 総合	後方3か月		
		前月比(%)	移動平均	
26年 1月	103.6	0.7	103.2	0.0
2月	103.3	▲0.3	103.3	0.1
3月	105.5	2.1	104.1	0.8
4月	100.7	▲4.5	103.2	▲0.9
5月	101.6	0.9	102.6	▲0.6
6月	101.3	▲0.3	101.2	▲1.4
7月	101.4	0.1	101.4	0.2
8月	101.5	0.1	101.4	0.0
9月	102.1	0.6	101.7	0.3
10月	102.1	0.0	101.9	0.2
11月	102.1	0.0	102.1	0.2
12月	102.5	0.4	102.2	0.1
27年 1月	103.0	0.5	102.5	0.3
2月	103.1	0.1	102.9	0.4
3月	103.2	0.1	103.1	0.2
4月	103.4	0.2	103.2	0.1
5月	103.1	▲0.3	103.2	0.0
6月	103.3	0.2	103.3	0.1
7月	103.4	0.1	103.3	0.0
8月	103.6	0.2	103.4	0.1
9月	103.2	▲0.4	103.4	0.0
10月	103.8	0.6	103.5	0.1
11月	103.2	▲0.6	103.4	▲0.1
12月	102.8	▲0.4	103.3	▲0.1
28年 1月	103.5	0.7	103.2	▲0.1
2月	103.7	0.2	103.3	0.1
3月	103.2	▲0.5	103.5	0.2
4月	104.6	1.4	103.8	0.3

第3次産業活動指数への業種別寄与度分解

平成28年4月の第3次産業活動指数は、医療、福祉などが低下したものの、卸売業などが上昇したため、前月比1.4%の上昇。



第3次産業活動指数を大きく動かした個別系列

		業種名	前月比	寄与率
○ 第3次産業総合を上昇方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	1位の業種	卸売業	3.5%	33.6%
	内訳業種	医薬品・化粧品等卸売業	16.3%	13.4%
		産業機械器具卸売業	19.3%	5.3%
	2位の業種	事業者向け関連サービス	4.6%	24.0%
	内訳業種	土木・建築サービス業	37.4%	25.6%
	3位の業種	金融業, 保険業	3.1%	21.0%
内訳業種	流通業務	8.0%	3.2%	
○ 第3次産業総合を低下方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	1位の業種	医療, 福祉	▲ 1.3%	▲ 12.4%
	内訳業種			
	2位の業種	電気・ガス・熱供給・水道業	▲ 2.2%	▲ 4.0%
	内訳業種			
	3位の業種	小売業	▲ 0.2%	▲ 1.4%
	内訳業種	機械器具小売業	▲ 6.6%	▲ 3.1%
	各種商品小売業	▲ 2.9%	▲ 1.8%	

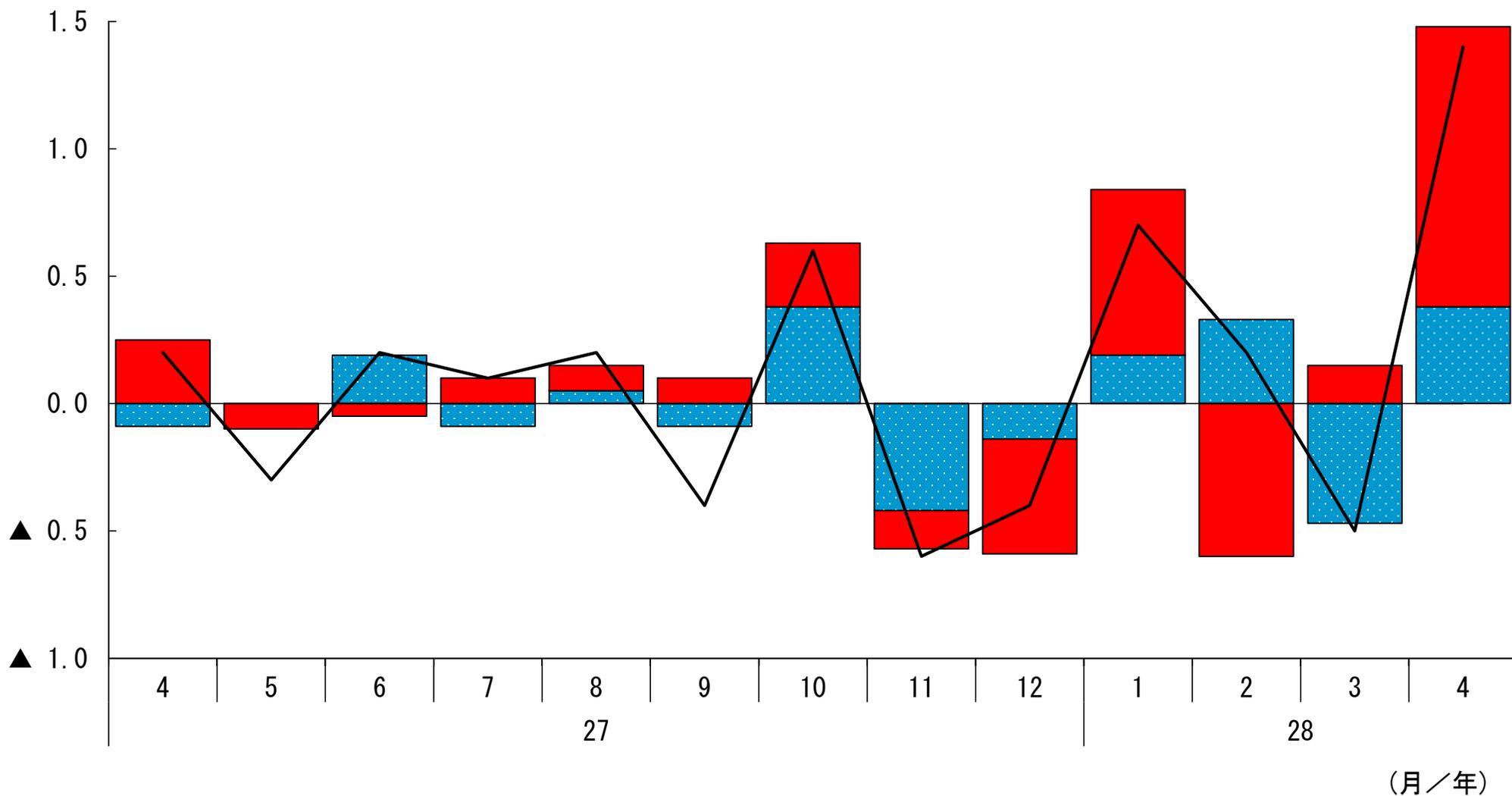
寄与率：第3次産業全体の変動に対して影響を及ぼした、各業種の影響の度合い全業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

広義対個人サービス／広義対事業所サービス活動(全体への寄与度)の動向

- 平成28年4月の第3次産業活動指数は、広義対事業所サービス、広義対個人サービスともに上昇したため、前月比1.4%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

■ 広義対事業所サービス ■ 広義対個人サービス — 第3次産業総合



内訳別にみた広義対個人サービス活動の動向

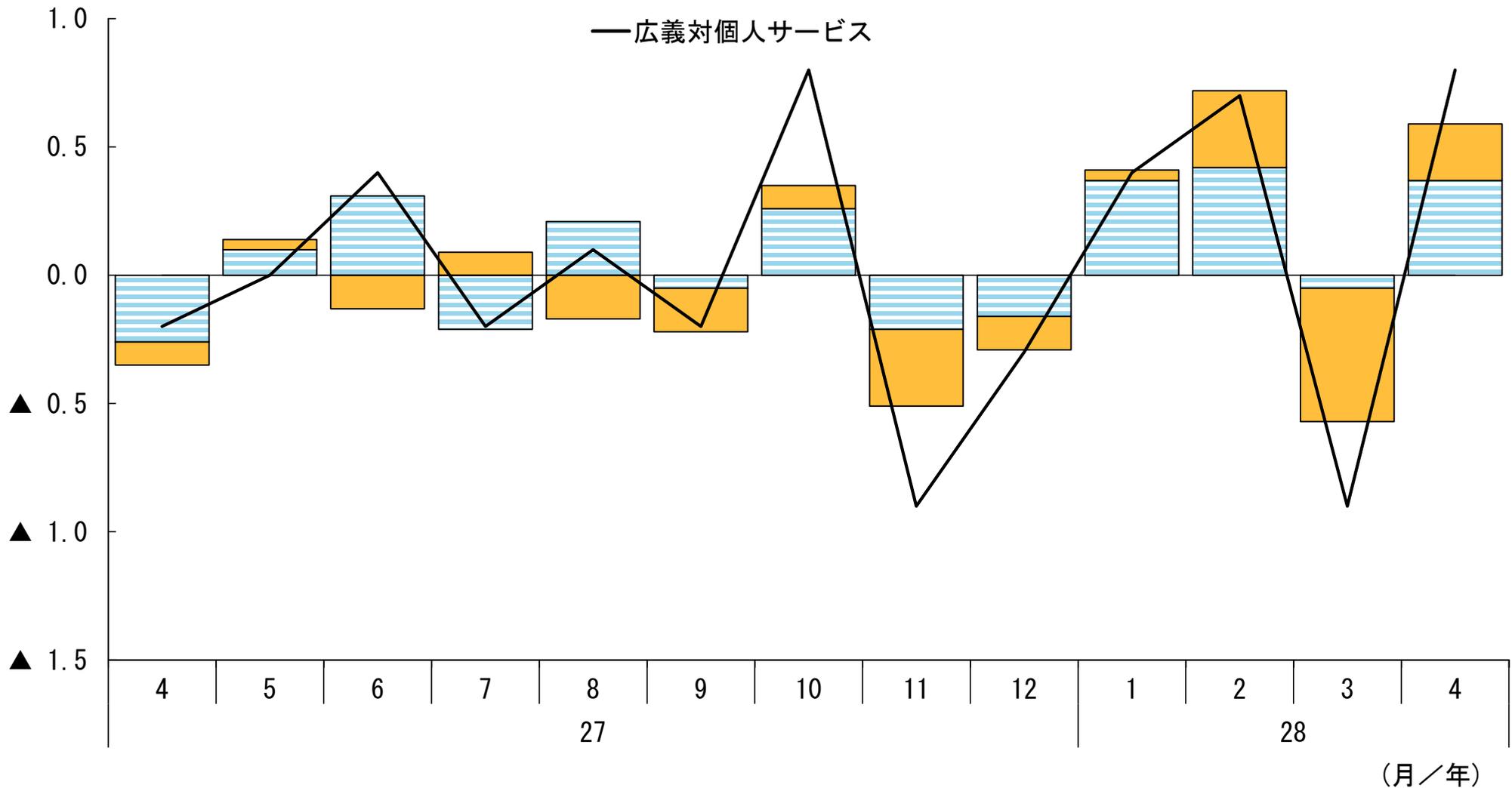
- 平成28年4月の広義対個人サービス活動指数は、広義非選択的個人向けサービス、広義し好的個人向けサービスともに上昇したため、前月比0.8%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

■ 広義し好的個人向けサービス

■ 広義非選択的個人向けサービス

— 広義対個人サービス



広義対事業所サービス、し好的個人向けサービスを大きく動かした個別系列

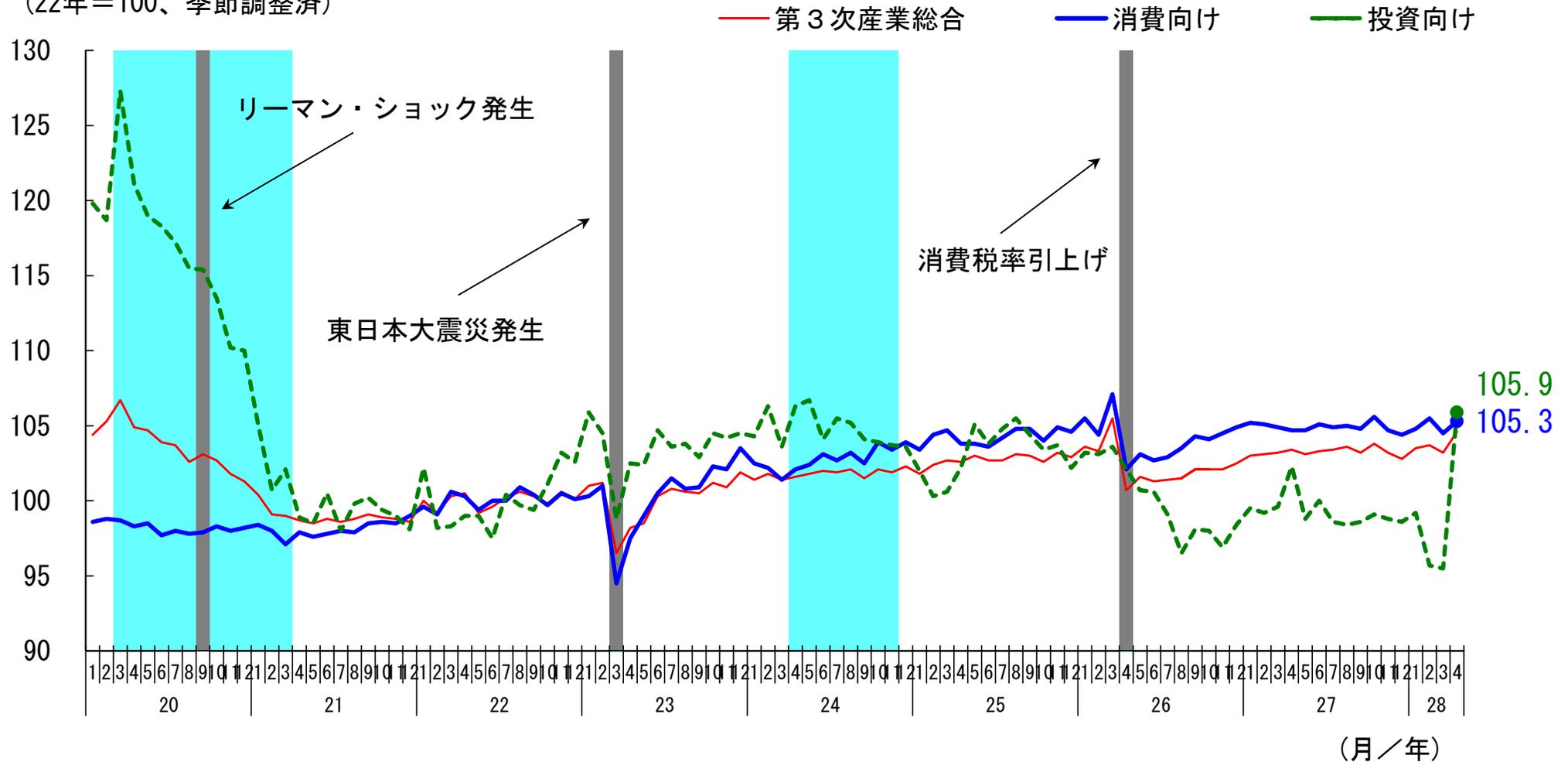
	業種名	前月比
○ 広義対事業所サービスを 上昇 方向へ 引っ張った業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	建設コンサルタント	28.8%
	医薬品・化粧品等卸売業	16.3%
	受注ソフトウェア	5.7%
	各種商品卸売業	6.4%
	産業機械器具卸売業	19.3%
○ 広義対事業所サービスを 低下 方向へ 引っ張った業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	システム等管理運営受託	▲ 6.1%
	機械設計業	▲ 7.0%
	その他の卸売業	▲ 2.3%
	衣服・身の回り品卸売業	▲ 8.5%
	地質調査	▲ 8.8%

	業種名	前月比
○ し好的個人向けサービスを 上昇 方向へ 引っ張った業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	自動車小売業	16.0%
	飲食サービス業	14.9%
	美容業	9.7%
	ホテル	7.6%
	マンション分譲(首都圏)	17.8%
○ し好的個人向けサービスを 低下 方向へ 引っ張った業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	プロスポーツ(スポーツ系興行団)	▲ 31.2%
	ゴルフ場	▲ 12.7%
	機械器具小売業	▲ 6.6%
	各種商品小売業	▲ 2.9%
	織物・衣服・身の回り品小売業	▲ 2.7%

消費向け／投資向けサービス活動指数の動向

- ・平成28年4月の消費向けサービス活動指数は、105.3(前月比0.8%)と2か月ぶりの上昇。
- ・投資向けサービス活動指数は、105.9(前月比10.9%)と3か月ぶりの上昇。

(22年=100、季節調整済)

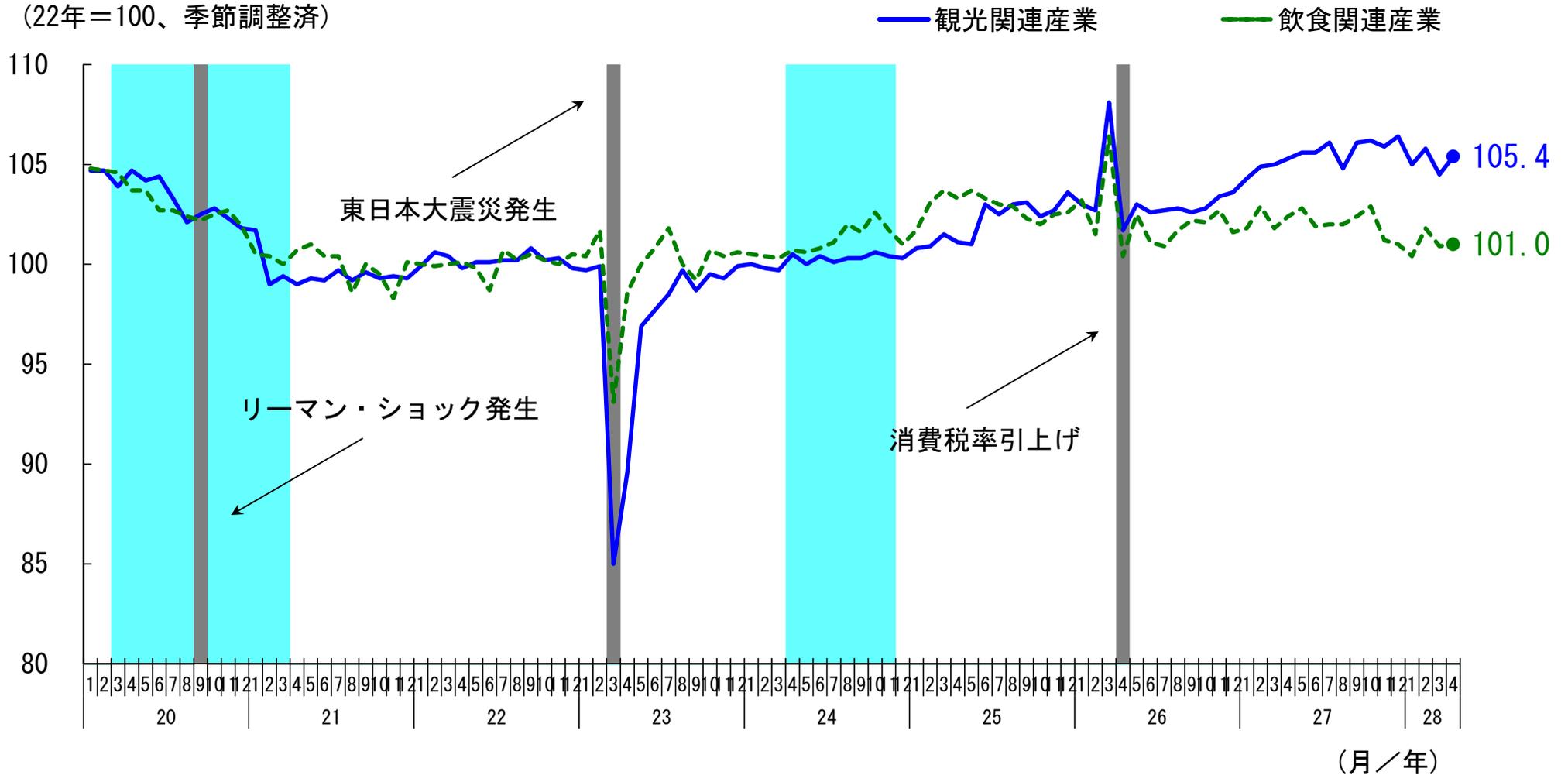


- (注) 1. 消費向けサービス活動指数は、非製造業から供給される個人消費関連のサービス(小売業や娯楽業など)の動きを表す系列。
投資向けサービス活動指数は、非製造業から供給される民間企業設備関連のサービス(ソフトウェア開発、機械器具卸売業など)の動きを表す系列。
2. 水色のシャド一部分は景気後退局面。

観光関連産業活動指数、飲食関連産業活動指数の動向

- ・平成28年4月の観光関連産業活動指数は、105.4(前月比0.9%)と2か月ぶりの上昇。
- ・飲食関連産業活動指数は、101.0(前月比0.1%)と2か月ぶりの上昇。

(22年=100、季節調整済)

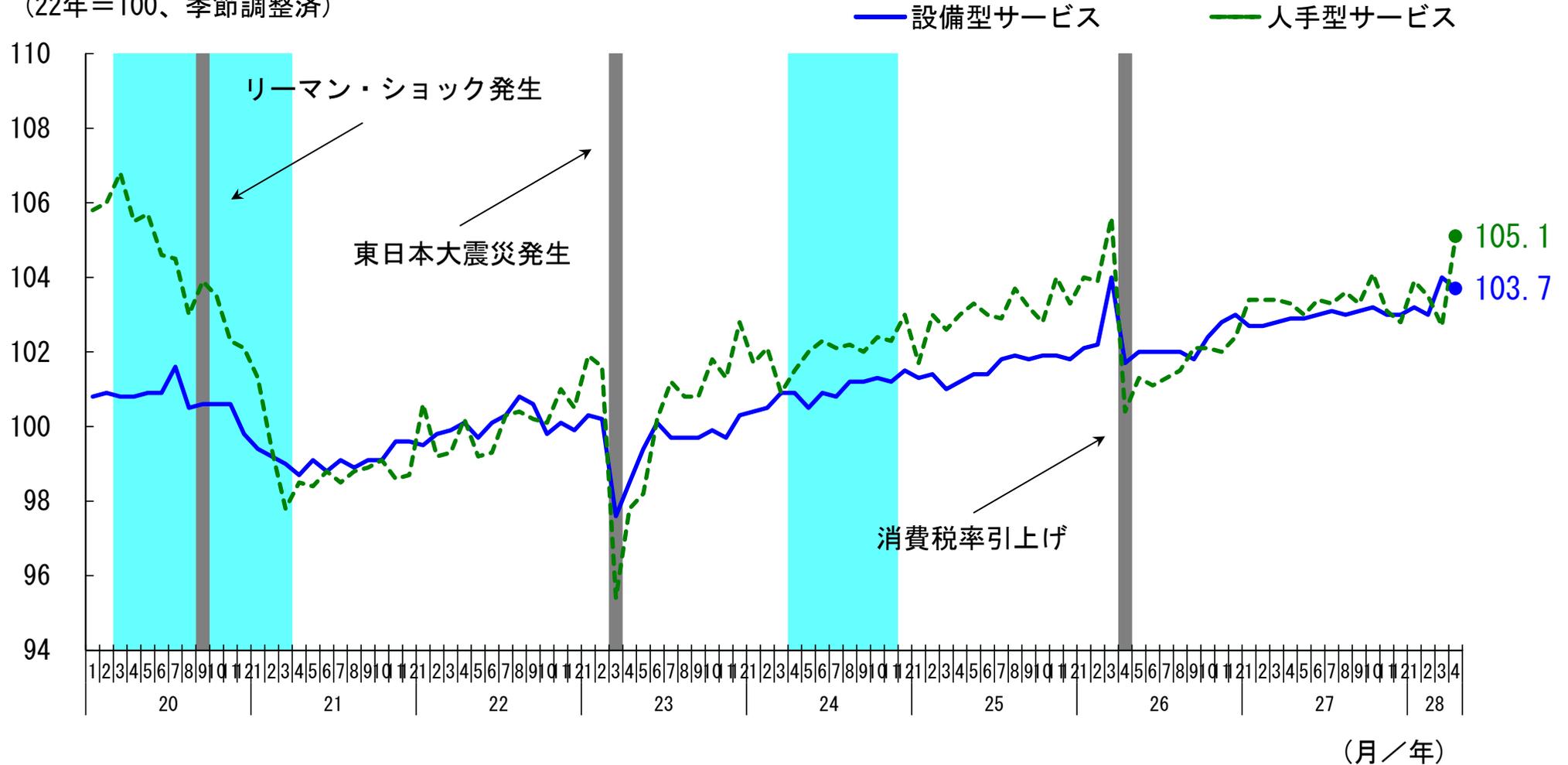


(注)1. 観光関連産業活動指数には、鉄道、バス、タクシー、飛行機、船舶等の旅客運送業、道路施設提供業(高速道路)、旅館、ホテル等の宿泊業、旅行業、遊園地・テーマパークが含まれる。
飲食関連産業活動指数には、デパート等の各種商品小売業(飲食料品部門)、飲食料品小売業、食堂、レストランやファーストフード等の飲食店、飲食サービス業が含まれる。
2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

設備型／人手型サービス活動指数の動向

- ・平成28年4月の設備型サービス活動指数は、103.7(前月比▲0.3%)と2か月ぶりの低下。
- ・人手型サービス活動指数は、105.1(前月比2.3%)と3か月ぶりの上昇。

(22年=100、季節調整済)

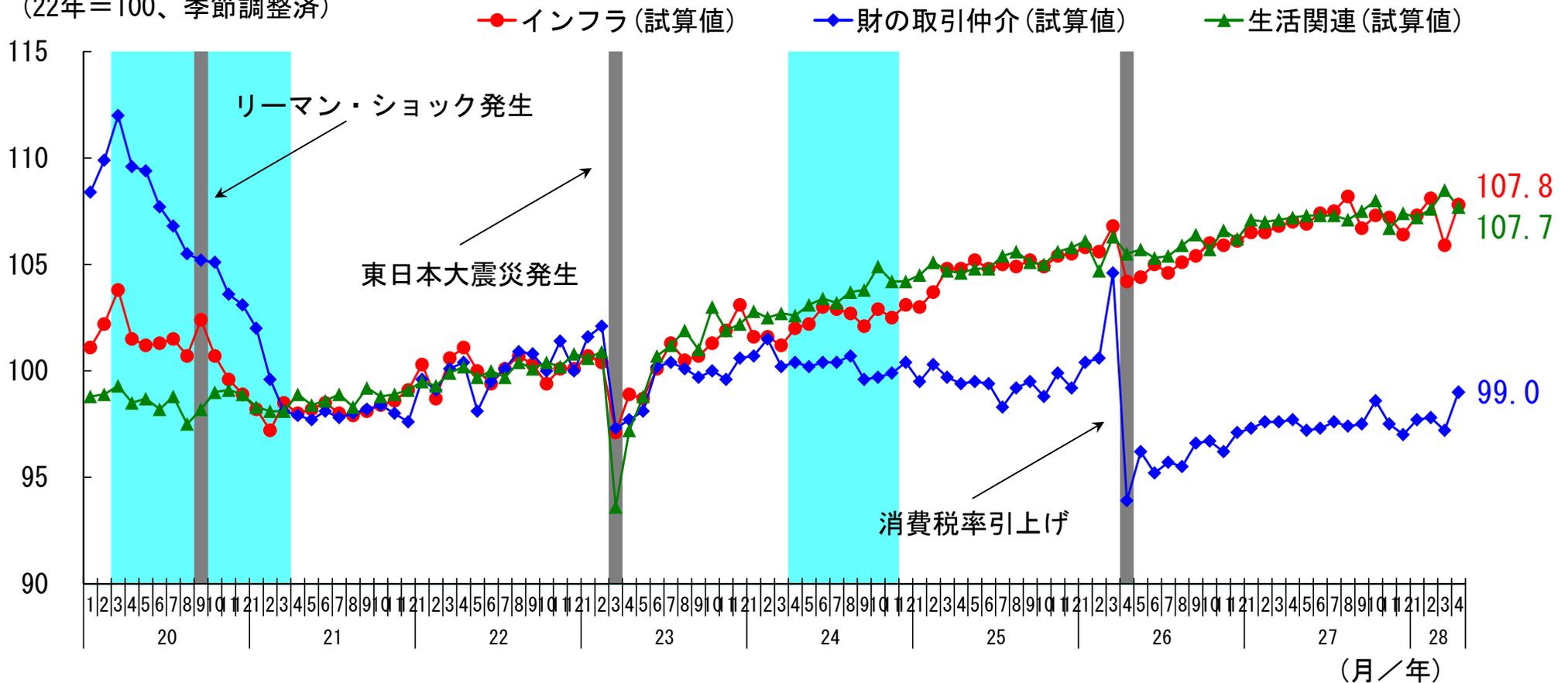


(注)1. 第3次産業総合の内訳系列を「人手」に比べ「設備」をより必要とするタイプのサービスである「設備型サービス」と、反対に「設備」に比べ「人手」をより必要とするタイプのサービスである「人手型サービス」に分割。具体的には、産業連関表の資本減耗と雇用者報酬を比較し、資本減耗の方が大きい系列を「設備型サービス」に、雇用者報酬の方が大きい系列を「人手型サービス」に分類している。
 2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

形態別にみたサービス活動指数の動向

- ・平成28年4月のインフラ型サービス活動指数(試算値)は、107.8(前月比1.8%)と2か月ぶりの上昇。
- ・財の取引仲介型サービス活動指数(試算値)は、99.0(前月比1.9%)と2か月ぶりの上昇。
- ・生活関連型サービス活動指数(試算値)は、107.7(前月比▲0.7%)と3か月ぶりの低下。

(22年=100、季節調整済)



(注)1. インフラ型サービス活動指数、財の取引仲介型サービス活動指数、生活関連型サービス活動指数は、それぞれ下記大分類業種の季節調整済指数を各ウェイトで加重平均して算出した試算値。なお、第3次産業活動指数の11ある大分類業種のうち「事業者向け関連サービス」は、この3つの試算値には含めていない。

・インフラ型サービス活動指数：電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業、金融業、保険業

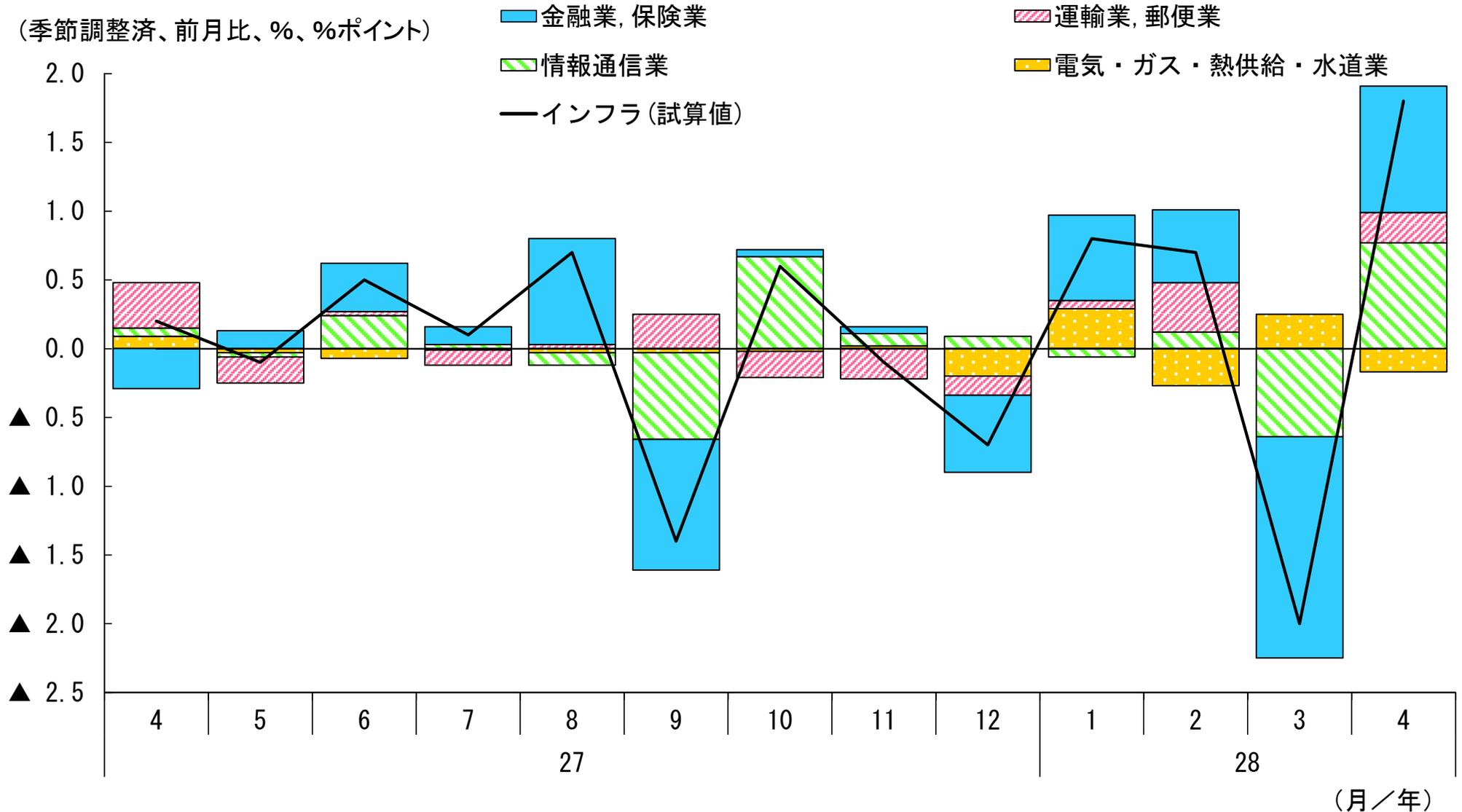
・財の取引仲介型サービス活動指数：卸売業、物品賃貸業(自転車賃貸業を含む)、小売業、不動産業

・生活関連型サービス活動指数：医療、福祉、生活娯楽関連サービス

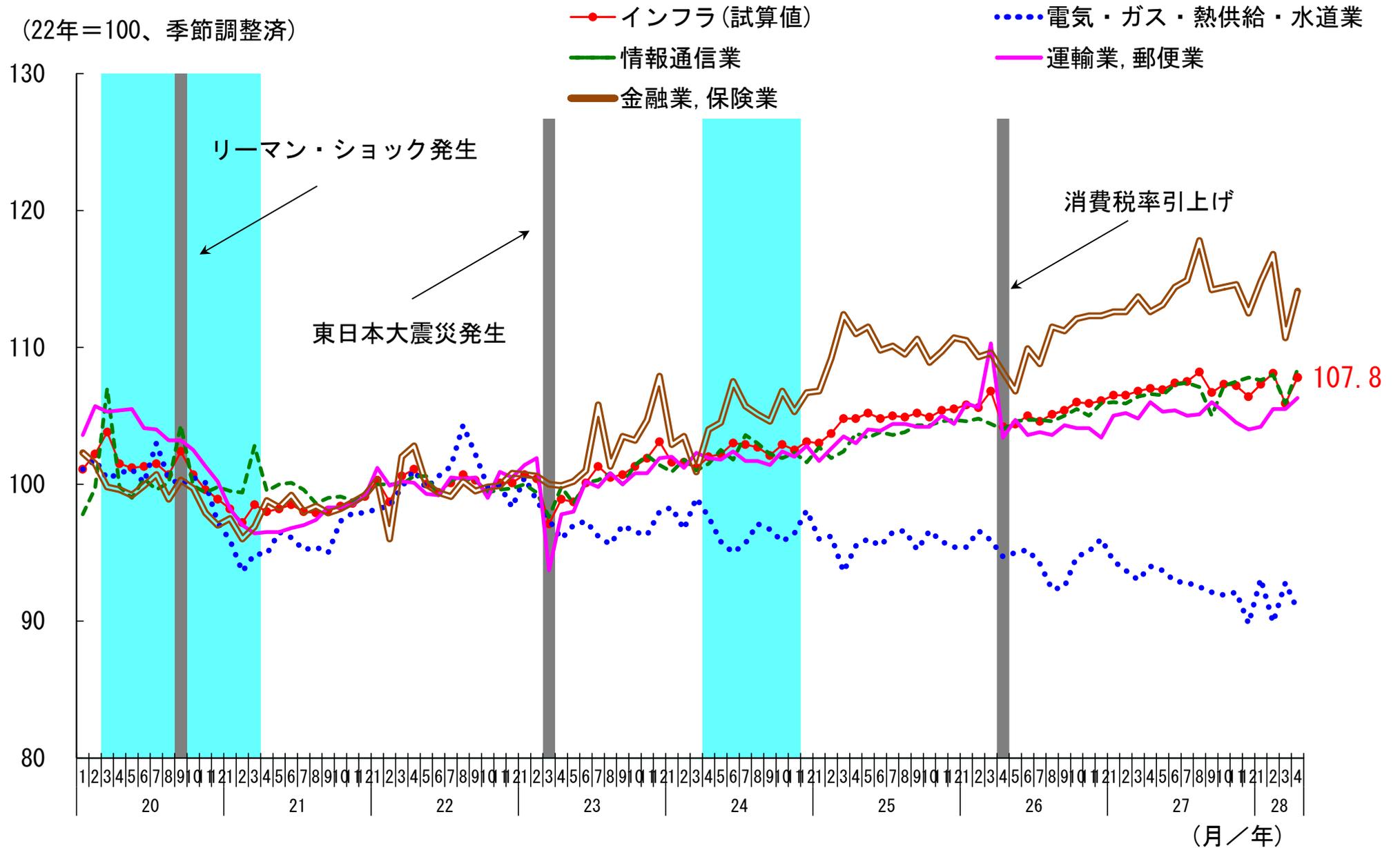
2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

インフラ型サービス活動指数(試算値)への業種別寄与度分解

・平成28年4月のインフラ型サービス活動指数(試算値)は、電気・ガス・熱供給・水道業が低下したものの、金融業、保険業などが上昇したため、前月比1.8%の上昇。



業種別に見たインフラ型サービス活動の動向

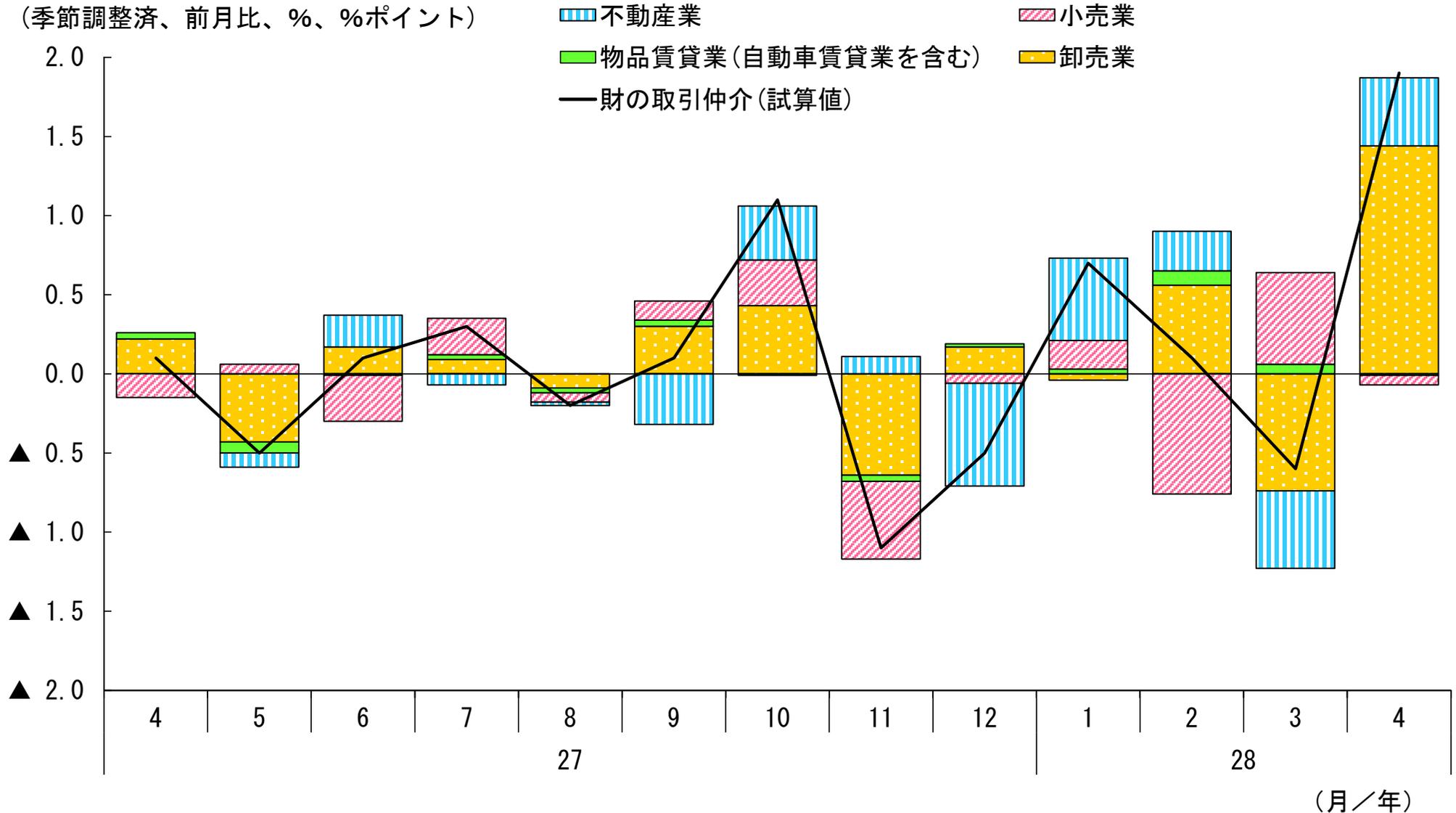


(注) 水色のシャドー部分は景気後退局面。

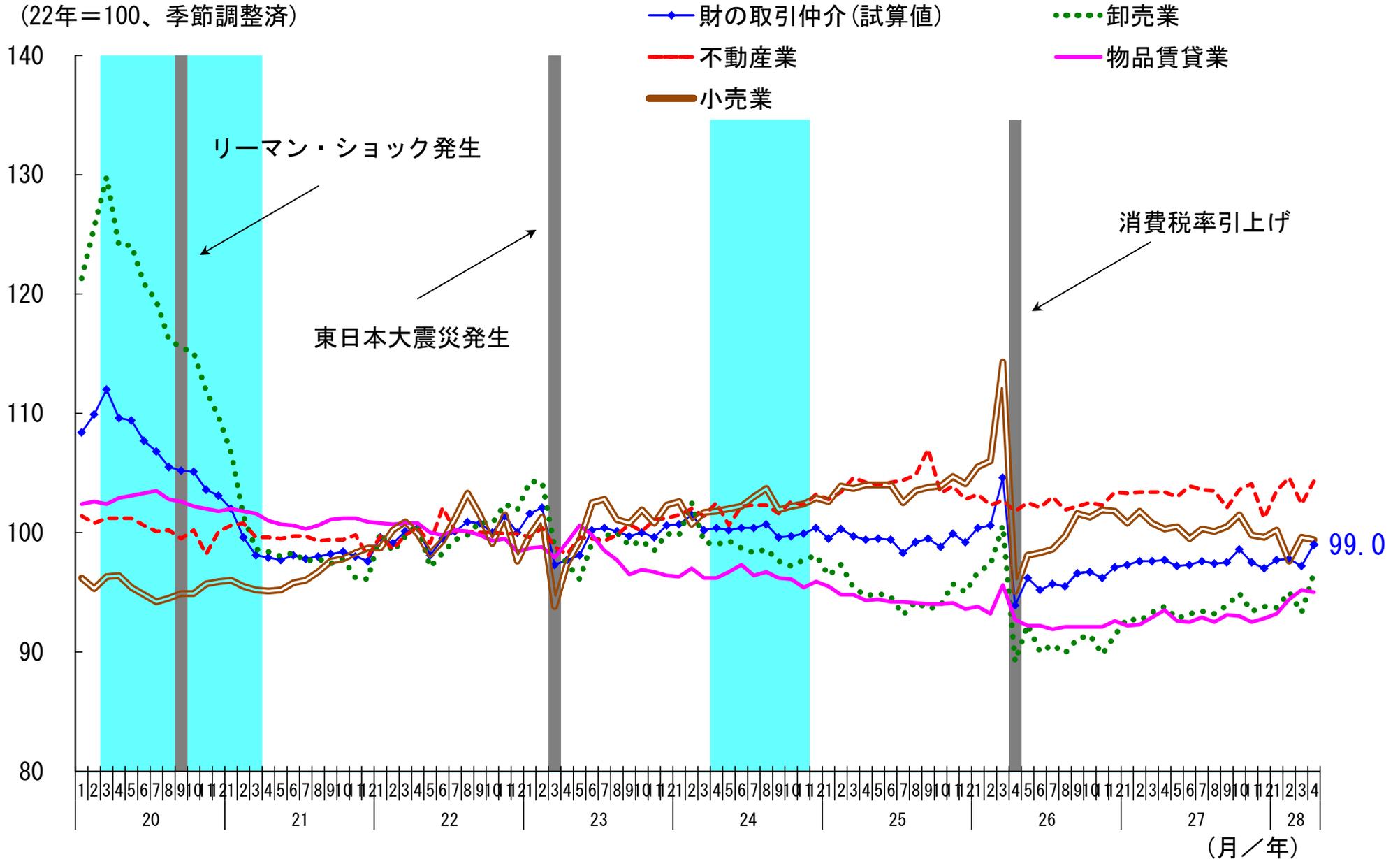
財の取引仲介型サービス活動指数(試算値)への業種別寄与度分解

・平成28年4月の財の取引仲介型サービス活動指数(試算値)は、小売業などが低下したものの、卸売業などが上昇したため、前月比1.9%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



業種別にみた財の取引仲介型サービス活動の動向



(注) 水色のシャドー部分は景気後退局面。

生活関連型サービス活動指数(試算値)への業種別寄与度分解

・平成28年4月の生活関連型サービス活動指数(試算値)は、医療、福祉が低下したため、前月比▲0.7%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

